

大都市殊に東京市に關スル特別制度ノ問題に關スル沿革ハ

概 梗 容 内

東京市制案ニ在スル意見

後藤新平伯爵編輯纂會

都市ト異ラナケレバナラヌカ、特別制度ヲ立テル根本ノ趣旨ヲ何所ニ置クカト云フコトニ到リテハ餘程相違ガアルヤウと思フ此ノ点に於テ從來案ハ大要四ツノ趣

旨ニ分レルト思フ第一ハ大都市殊に東京市ノ如キはテハ輦輻ノ下デハアリ國家トノ關係が極メテ密接デアルカラ國家トノ行政ノ關係が他ノ小都市ニ於ケルヨリモ一層密接デナケレバナラヌトイフノが一ツノ考デアル、第二ノ考ハ東京市ノ如キ大都市ニ於テハ中間ニ府ト云フヤウナ階級ヲ介在セムルト云フコトハ後、事務ノ繁雜、運滯ヲ来シテ不便ニシテ實益が無イ、故ニ之ヲ簡易ニスル必要ガアルト云フコトデアル、第三ノ考ハ自治体ノ階級ハ我國に於テハ御承知ノ通り三階級ノ處モアレバ二階級即チ縣ト市ニナツテ居ル處モ之故大都市ニ於テハ更に階級ヲ少クシテ、縣モ市モナク之ヲ合ヤテ一ツ

ケル  
案  
度  
有  
一  
致  
小

大都市殊に東京市に關スル特別制度ノ問題、關スル沿革ハ  
 今更新ニ申スマテモナイコトデアリマスが從來ニ於ケル  
 各種ノ案ヲ通覽シテ見ルト何レモ大都市殊に東京市ノ如キ大都市ニ對シテ普通ノ市ト同ジ制度ヲ適用スルコトハ甚ダ實際ニ適シナイカラ何等カ特別ノ制度ガナケレバナラヌト云フ點ニ於テハ總テ一致シテ居ル、然レ乍ラ如何ナル點ニ於テ大都市ハ他ノ小都市ト異ラナケレバナラヌカ、特別制度ヲ立テル根本ノ趣旨ヲ何所ニ置クカト云フコトニ到リテハ餘程相違ガアルヤウ、思フ此ノ點ニ於テ從來ノ案ハ大要四ツノ趣

旨ニ分レルト思フ第一ハ大都市殊に東京市ノ如キ於テハ輦轂ノ下デアリ國家トノ關係ガ極メテ密接デアルカラ國家トノ行政ノ關係ガ他ノ小都市ニ於ケルヨリモ一層密接デナケレバナラヌトイフノガ一ツノ考デアル、第二考ハ東京市ノ如キ大都市ニ於テハ中間ニ府ト云フヤウナ階級ヲ介在セムルト云フコトハ後、事務ノ繁雜、遲滯ヲ來シテ不便ニシテ實益ガ無イ、故ニ之ヲ簡易ニスル必要ガアルト云フコトデアル、第三ノ考ハ自治體ノ階級ハ我國ニ於テモ御承知ノ通り三階級ノ處モアレハ二階級即チ縣ト市ニナツテ居ル處モ有ル故ニ大都市ニ於テハ更ニ階級ヲ少クシテ、縣モ市モナク之ヲ合セテ一ツ

ノモノニシタ方が宜シイトイフテ主トシテ事業ノ方カラ著  
眼シテ事業ヲ縣ト市トニノ自治体ニ分ケテ經營シテ  
行クノハ大都市ニアツテハ適セヌカラトアツテ自治体  
ノ事業ノ整理統一ト云フコトヲ眼目トシテ制度ヲ立テ  
ヤウト云フノデアルヤ第四ノ考ハ大都市ニ於テ如何ニモ  
膨大ナルモノデアルカラ普通ノ小都市ノ如クニ單純ナル間  
單ナル組織デハ自治ノ趣旨ヲ徹底スルコトガ難カシイ、  
又事業ノ成績ヲ擧ゲルコトモ難カシイ、ソレ故ニ斯ノ如  
キ大都市ニ於テハ特別ノ組織ヲ立テ、之ヲ細ニ分ケテ、何  
等カノ機關ヲ設ケテヤルノ必要ガアリハセヌカト云フヤ  
ウナコトデアル、市制施行ノ後引續イテ出マシタ特別市

制ナルモノハ主トシテ第一ノ趣旨ニ基ツイテ居ル、即チ東  
京、京都、大阪ト云フヤウナ大都市ハ國家ニ對スル関  
係が極メテ密接デアルカラ之ニ對スル國家ノ干涉ノ  
程度、於テツマリ國家トノ關係ヲ一層厚クシナケレバ  
ナラヌト云フ趣旨ニ基ツイテ居ルノデアルト思フ、分論  
其外ニハ府ト市トノ聯絡ヲ一層密接ニシテサウシテ  
事務ノ簡便ヲ圖ルト云フコトモ加ハツテ居リマセウケレド  
モ、主トシテ國家ノ自治体ニ對スル關係ヲ密接ニシヤ  
ウト云フコトが主眼デアツタラウト思フ、ソレデ巴厘ノ  
制度ナドヲ參酌シテ知事が同時ニ市長ノ職ヲ行フト云  
フヤウナ制度ヲ執ツタノデアル、第四ノ考ニ基ク大都

市が餘り膨大ナモノデアルカラ自治ノ趣旨ノ徹底ヲ圖リ  
又事務ノ進捗ヲ圖ルニハ之ヲ細ニ分ケル必要ナキヤトイ  
フ点カラ出来タ案ハナイが元老院ニ於テ、此ノ点ニ於  
テ議論ガ多クツタノデアル、而シテ此精神ハ後ニ都  
制案ノ中ニ加ヘラレテ居ルヤウデアル近頃東京市  
會デ編纂サレタ東京市制案ニモ此ノ趣旨ガ加  
ハツテ居ル即チ此ノ案ハ區ノ権限ヲ強クシテ、市ノ下ニ  
區ト云フ區劃ヲ認ナルバカリデナク、其法人格ヲモ今日  
ヨリモ一層重ンジテ之ヲ傷カヤウト云フ意味ガ加ハツ  
テ居ル、此ノ趣旨ハ東京市制案ニモ加ハツテ居ル、又  
事務ノ簡便ヲ圖リ市ト國トノ間ニ府ガ介在スル為ニ

生ズル事務ノ滋滯其他ノ故障ヲ除クが為ニ、主トシ  
特別ノ制度ヲ立テルト云フ案ハ十四モ衆議院ヲ通  
過シテ居ルが今四議會ニ提出サレト傳ヘラレテ居ル  
案モ矢張り之ヲ主眼トシテ居ルヤウデアル、然ルニ自治  
體ノ事務ノ整理ト云フコトヲ主眼トシテ、大都市ニ於テハ  
一階級ニシヤウトイフ趣旨ヲ基トシテ居ルノハ東京  
市制案トカ其他東京市ヲ府縣ノ區域ノ外ニ置  
イテ獨立ノモノニシヤウト云フ案ノ骨子ニナツテ居ル、  
尤モ東京市制案ニハ尚前ノ特別市制ノ趣旨ガ幾  
ラカ加ハツテ居ツテ、大都市ニ對シテハ國家トノ關  
係ヲ一層密接ニシヤウト云フ趣旨ヲモ兼ネテ居ル

ノテマリマシテ隨テ市長ヲ官選ニスルト云フヤウナ規定  
モ設ケラレタル以上ノ案ニ對スル愚見ヲ述ベルトテ第一東京  
ル國ト都市トノ關係ヲ一層密接シテ國ノ大都市ノ行  
政ニ對スル干涉ノ程度ヲ強クシヤウト云フ趣旨ノミ  
ニ基ヅイタ案ハ今日ニ於テハ到底行フコトノ出来ナイ  
案ダト思フ、即チ明治三十二年ノ法律第百三號特  
別市制ニ對シテハ施行ノ初メ非常ニ異論ガアツテ、  
私共ハ陰ニ拮ツテ頻ニ維持スル論ヲヤツタモノデ今デモ  
維持論ノ立タマ譯デハアリマセ又ガ今日ノ世ノ中ニ於  
テハ到底實行ノ出来ナイコトデアル、サレバ此趣旨ニ  
基ヅイタ特別制度ノ案ハ今日ニ於テハ無論問題ニ

ナルマイト思フ、又元老院ニ於テ一時議論ノアツタ様々  
東京ト云フ一ノ大キナ市ハ素ヨリ更ニ大阪トナ京都市トカ  
云フヤウナ大キナ市ヲ幾ツカノ區ニ分ケテ區モノ市テ  
アルガ如キ制度ヲ立テルト云フ考モ到底行フコトが出  
来ヌコト、思フ、大都市ハ自ラ一ノ團結ヲ成シテ居  
ル、只法律上ニ於テ團結シテ居ルノミナラズ事實上ニ  
於テ團結シテ居ル、其事業モ共通ノモノガ多シ、故  
ニ此趣旨ニ基ヅイテ特別ノ制度ヲ立テルト云フコト  
モ今日ノ問題ニナラヌト思フ、只此趣旨ヲ幾ラカ条  
酌シテ區ノ自治ノ權能ヲ幾ラカ強クシ、或ハ更ニ他ノ  
組織ヲ考ヘルト云フコト又ケハ素ヨリ問題ニナルト思フ、

又事務ノ簡捷ヲ圖リ、敏活ニ行フ爲メ其間ニ種々  
錯雜シタル手續ヲ要スルヤウナ弊ヲ除クト云フ趣  
旨ニ基ツク案ハ數年間衆議院ニ於テ尚問題ニナリ  
シノミナラス、今日デモ尚其考ニ基ヅイテ改正ヲシ  
ヤウト云フ意見ガ一部ニ在ルトイフガ勿論事務  
ハ簡捷ヲ圖ルト云フコトハ大ニ考ヘナケレバナラヌ、又  
事務ノ簡捷ヲ圖リ得ルナラバソレダケデモ利益ノアル  
コトニハ相違ナイガ然レ大都市、特別ノ制度ヲ只  
此ノ一趣旨ニ基ヅイテ立テルト云フコトニ到ツテハ大  
ニ講究ヲ要スルト思フ、又斯ノ如キデアツテハ果シテ  
特別ナル制度トシテ何人モ認ムルコトノ出スルヤウナ一ノ

理想、理論上ノ根據ニ據ツタ案デアルトシテノ疑ガ無  
イデモナイ畢竟此ノ案ハ行政ノ組織ナリ自治体  
ノ組織ナリニハ手ヲ著ケズシテ、只監督ノ階級  
ヲ減ラサウト云フ案デアツテ見レバ普通一般ノ  
行政ニ就テモ縣ト市ノ二階級トシテ自治体トシテ  
ノ働キヲモ二階級トスルナラ格別事業或ハ府  
縣ニ於テ經營シ或ハ市ニ於テ經營スルト云フヤウニシ  
テ、只監督ノ階級ダケヲ一階級ニシヤウト云フノハ  
制度トシテハ果シテ理論上ノ根據ガ確ナモノデアラ  
ウカ、ドウカト云フコトハ餘程疑ガアル例ニハ同ジク  
市制ノ中ニ規定シテアル事柄デモ國ノ行政、縣ノ

行政等、就テノ監督ハ如何ニスルカ、國ノ行政ニ就テハ  
一府縣内ノコトハ府縣知事が其責任ヲ擔ツテ  
居ル、其下ニ於テ或ハ市長が働キ郡長が働キ或  
ハ町村長が働クノデアルカラ、即チ國ノ行政ノ責任ハ  
知事が擔ツテ居ル以上ハドウシテモ知事ニ監督權ヲ  
持タス外ハナイダラウ、府ノ行政ニ就テモ亦同様ノ理  
宜デハアルマイカ、是ハ更ニ一層強ク理由ヲ以テ知事  
が監督ヲシナケレバナラヌコトニナリハシナイカト思フ、  
或ハ國ノ行政、府縣ノ行政ヲ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依  
ツテ内務大臣が知事ニ監督上ノ處分ヲサセルコトが  
出来ルト云フヤウナ案モアルヤウデアルが是ハ主客

ヲ轉ジタコトデアツテ、國ノ行政、府縣ノ行政ニ就テ  
知事ニ責任ヲ負ハセテ居ル以上ハ大体ニ於テ矢張り  
知事が監督ノ權能ヲ持タナレバ其職責ヲ全ウ  
スルコトハ出来ナイ道理デハナカラウカ或ル事柄ニ  
就テ例外ヲ設ケテ、例外トシテ監督が出来ルトカ出来  
ヌトカ云フコトハドウデアラウカト思フ、之ヲ實體法規ニ  
徴スルモ教育ノ關スル地方學事通則、小學校令  
等ニ於テハ矢張り今日ノ通り或ル所ニ於テハ三階級  
或ル所ニ於テハ二階級、即チ市ノアル所ハ二階級ノ行政  
ノ組織ナリ又ハ自治團體ノ組織ナリヲ基トシテ規  
定致シテ居ルノデアル、然ルニ單ク監督ノコトノミ

ヲ一階級ニスルト云フコトハ果シテ理論ノ一貫シタ問題デ  
アルカ、大ニ疑ガアル、自治事務ノ方ニ到リマシテハ強イテ  
其監督ヲ他ノ國ノ行政、府縣ノ行政或ハ實體法規ニ定  
メテ居ル所ト異ニシテ一階級ニスルト云フコトが絶對ニ  
出来ヌコトデハナイカモ知レヌケレドモ理論上ノ根據ハ  
甚タ薄弱デハナイカ、既ニ三階級ノ制度ヲ採リ差  
クハ二階級ノ制度ヲ採ツテ居ルト云フノハドウ云フ趣  
旨カト云フト、ソマリ其行政ヲ或ル一小區劃ニ於テ  
先ヅ固メ、ソレカラ次ノ區劃ニ於テ固メ、更ニ上ノ區  
劃ニ於テ之ヲ統一シテ行政ノ執行ヲ図ラウト云フ趣  
旨デアル、斯様ノ制度ヲ採ツテ居リナガラ單リ自治

行政ニ於テノミ其階級ヲ異ニシヤウト云フコトハドウ  
云フ特別ノ理由ガアルデアラウカ、其特別ノ理由ト  
言ヘバ只事務が複雑デアルトカ手数が面倒デア  
ルト云フコトニナルカ知レマセヌガ、手数が面倒デアルト  
云フノハ大都市ノミデナク三階級トスレバ手数が  
面倒デアルト云フコトハ小都市ニ於テモ所村ニ於テモ  
同じデアルト言ハナケレバナラヌ、サウスルト手数が面  
倒デアルト云フばかりデナク小サナ市若クハ所村ニ於  
テハサウス必要ガアルカラ面倒デモ已ムヲ得ナイケレ  
ドモ、大都市ニ於テハサウス必要が無イト云フ理由デ  
ナケレバナラヌ、然ラハ大都市ニ於テサウス必要が無

イト云フ論ヲ要スル、行政組織が階級デナクテ宜シイ、三階級デナクモ宜シイ、階級デ宜シイト云フ論ニナラナク又、行政ノ組織ハ三階級デモ宜シイ、二階級デモ宜シイト言ヒナガラ、行政監督ダケガ二階級ニスル必要ハ無イト論ズル特別理由ヲ見出スコトハ、餘程困難デハナイカト思フ蓋シ此所ニハ事情論が入ツテ居ルノデアル、ソレハ何カト云フト大都市ニ於テハ市長タルモノハ立派ナ人デアル、國務大臣ノ經歷ヲ有スル人が市長ニナルコトモアル、現ニ國務大臣タル以上ノ人物が其長ニナツテ居ルト云フコトモアリマスが、是事情論デアル、國家ノ監督ト云フコトハ國が市ヲ監督スルト云フノデアツテ其市長タル人物ヲ論ズルノデハ

ナイ、監督サレル人トシテ現在ノ國務大臣ヨリ立派ナ市長ガアルトイフコトハ事情論デ之ヲ以テ法律上ノ根據トスルコトハサレ薄弱デハナイカ、又手數が面倒デアル錯雜デアルトイフガ、カノ行政事務ニ於テ府知事限りテ認可スルト云フコトハ既ニ一階級デアルヨリ其ノ内務大臣ノ認可ヲ受ケナケレバナラヌ場合ニ於テ知事ヲ經由スルノ點丈ケが錯雜デアルト云フニ過ギナイ知事が認可スルモノヲ内務大臣が認可スルト云フコトミニテモ矢張り認可ニ要スル手數ハ掛ル、唯内務大臣ノ認可ヲ要スル時ニ知事ヲ經由スルコトハ如何ニモ面倒デアルト云フノデアルケレドモ、直接内務大臣が監督

預、スルト云フコトナレバ矢張り内務大臣が直接、或ル  
機関ヲ使ツテ相當ノ調ベヲシナケレバならん、今日知事ヲ使  
ツテ其調ベヲスル代リニ内務省ノ官吏ヲ使ツテスルナリ外  
ノ方法ニ依ツテマルト云フコトニナルノデアルカラ其間ニ  
ドレダケノ差違ガアルデアリマセウカ、或ハ之ニ依リテ  
内務大臣トノ直接談判ヲ主張スルノカモ知レヌガソウ  
ナレバ簡單デアアルガ監督ノ事務ハ必ズシモサウハ行カヌ  
監督事務ハツマリ内務省ノ役人ト市役所ノ役人ト  
交渉ヲシテ事が決マルト云フ譯デアリマシテ大臣ト市  
長トノ直接關係ト云フ譯デハナイノデアルカラ、此  
ノ様ニ考ヘテ見ルト所謂手數ガ煩雜デアルト云フコト

モ考方ニ依ツテハ果シテドレダケノ違ガアルデアラウカト云  
フ疑モ生ズルノデアル、一併事務ガ煩雜デアルトカ或ハ錯  
綜シテ困ルト云フコトハ監督ノ階級ト云フコトヨリ外ニ  
在ルノデハナイカト思フ、其一例ヲ申セバ例ハ府縣デモ  
市デモ隨意事務トシテイロク々々ノコトヲ經營スル近頃  
殊ニ社會事業ナドガ地方團體ノ事業ノ中デ最も重  
ナル部分ヲ占メテ居ツテイロク々々ナコトガ經營サレル公  
設市場ヲ設ケルトカ其他イロ々々新ナル仕事ガ經營サ  
レル、其時、市ト府トノ間ニドウ云フ境ガアルカ、市デシ  
テ宜カラウト思フコトヲ府デヤツテ居ル、府デヤルナラハ強  
イテ市デヤラナクトモ宜ササウダト思フコトガアル、宛モ競

事ノ有様デ各々思出シタヤウニ仕事ヲスルト云フ傾カアリハシ  
ナイダラウカ、又事業ノ取合ト云フヤウナコトガアルノデハナ  
イカ、是ハ未ダ傳聞ノコトデ間違カアルカモ知レヌガ、東京  
都ノ錢獄事件ナドヲ聞キマスト矢張り工業學校ヲ市  
デ經營スルガ宜シイカ府デ經營スルガ宜シイカト云フ  
風ナコトデ府市衝突ノ原因ニナツタト云フコトデアル、私ハ根  
本ノ面倒ハ茲ニ在リデハナイカト思フ例ハ道路等ニ就テ  
モ市内ノ道路ハ市長ガ管理スルコトガ原則デアルノ從  
前ハ東京市ノ外ハ國道ト府縣道トハ市内ニ在リテモ  
府縣知事ガ管理シテ居ツタ、然ルニ市内ニ在ル國道ト  
縣道トハ極ク僅ナモノデ大多數ハ市道デハ無カロウ

カ、夫レニモ拘ラズ其多數ノ道路ノ中デ僅ナモノヲ殊更  
國道又ハ縣道トシテ府縣知事ガ管理スルト云フヤウ  
ナコトハ大ニ錯雜ヲ來スノデアル、サウスルトハ監督ノ  
階級ヲ省クト云フコトガ假令效果ガアルニシテモソレガド  
レダケ事務ノ實質ニ影響者ヲ及ボスモノデアラウカ私  
ハ此點ニ就テハ餘程考慮シナケレバナラヌト思フ、サウ云フ  
風ミダン々々考ヘテ見ルト成程監督ノ階級ヲ省イ  
テ事務ヲ簡便ニスルト云フコトハ一ノ利益ニ相違ナ  
イケレドモ、ソレノミヲ主眼トシテ今日特別ノ制度ヲ  
採ヘルト云フコトガ果シテ満足スベキモノデアラウカ、私ハ満  
足スベキ特別ノ制度デハナイト思フ、此ノ種ノ關係カラ

スレバ單リ東京ばかりデハナイ、大阪京都等ハ勿論或ハ所  
謂ハ大都市、或ハ其以外ノモノデモ寧ろ階級ヲ省イテ  
貫ツタ方が便利デ宜シイト云フコトモアル、沿革ヲ見  
テモ衆議院カライロ々々建議案が出テ居ルヤウデアルガ、  
ソレ等ノ建議案ハ大阪、京都、横濱、神戸、名古屋  
屋等ニ就テモ矢張り同様ノ趣旨ノ建議案が出テ  
居ル是ハ成程監督ノ階級ヲ省クト云フコトカラ言ヘ  
ハ總テ共通ノコトデアル、ソレナラ更ニ一歩進ンデ外ノ市  
ニモ及ボシタイ、ト云フ希望モ出ルデアロウ、ケレドモ特別  
ノ制度ヲ設ケムスルノハ決シテ斯ノ如キ簡單ナ趣旨  
デナク事務ノ錯亂ヲ防グ事業ノ分界ヲ明ニスルト

云フ方ノ考ヲ基トシテ論ジナケレバナラ又左スレバ餘  
程ノ大都市デナケレハ問題ニナラスト思フ私ハ考ヘルト  
コロデハ今ハ東京市ダケハ問題ダト思フ、ソマリ府縣  
ト肩ヲ並ベテ府縣ノ為スベキダケノ事業ヲ負擔ス  
ノカアルトコロノ團體デナケレハ決シテサウ云フ特別ノ市制ヲ  
立テルコトハ出来ナイト思フ大阪市ガ今後更ニ大々  
發達シタナラバ或ハ同ジヤウナ必要ヲ見ルカモ知レマセ  
スト思フノミデアル、若シサウナルト特別ノ制度ヲ立テ  
ルニハ斯ウ云フ總テノ為ニ思フ致シテ單ニ監督  
ノ階級ヲ省クト云フコトデナク事務ノ分界ヲ數理  
スルト云フ趣旨ヲ主トシテ、東京ノ如キ大都市ハ之ヲ

一、獨立ノ區劃ニシテ府縣ト引離シテ仕舞フト云フコト  
ニナラナケレバ徹底的ノ制度ハ立タヌト思フ夫レデナケレ  
バ制度トシテ趣意ノ一貫シタモノハ立タヌト思フ然シ  
斯ウナルト一困難ナ問題が起ルト云フハ東京市  
が府縣ト相對立シタ一團體ニサツタストソレが同時  
ニ國ノ行政區劃デアルトスレバ其行政ノ組織ヲ如何  
ニスルカト云フ点ニ在ル、是が何時モ衆議院ト貴  
族院トノ意見が違ツテ都制案が衆議院ニ於  
テハ通ラズ、市制案ハ貴族院ニ於テ通ラヌト云フコ  
トデ數年、十數年ノ間行儀シタ所以デアル、私ハ  
其當時ニ於テハドウシテモサウ云フ制度ニスル以上ハ

官選ノ人ヲ以テ長官ニシナケレバナラヌト云フ論デアツタ、  
然レ私モ此頃ハダンカク考が違ツテ來タ、成程府  
縣ニ於テハドウシテモ其長タルモノハ國家が任命シ  
ナケレバナラヌト云フハ府縣知事ノ最も重ナル職權  
ノ一ハ、警察權、裁判權、モウ一ツノ重ナル職權ハ地方  
團體ノ監督デアツテ、是等ハ國ノ行政中ノ最も重  
要ナルモノデアツテドウシテモ國ノ任命シタ人がヤラナイト  
十分ノコトが出来ナイ、ツマリ地方團體ニ對シテ地方團  
體が國家ノ利益ヲ害スルヤウナコトガアリハセヌカト  
云フコトヲ監督スルノデ是ハ國家ノ官吏ヲナケレバナ  
ラヌ、警察權ニ到ツテハ勿論デアル、素ヨリ所謂行政

警察寮ト云フモノヲドウスルカト云フコトハ別ニ講究スベキ問  
題デアリマス、ケレドモ高等警察寮ハ勿論司法警察寮  
ノ大部分ト云フモノハドウシテモ府縣ニ在ル、ソレデ此警察  
寮ノ府縣ニ在ル首腦ナリ又ハ府縣内総テノ自治  
体ノ監督權ヲ行フ知事ハ官吏デナケレバナラヌト云  
フコトハ當然ノコトデアル、然ルニ東京ニ在リテハ既ニ警察  
寮ハ金ク別ニナツテ居ル、ソレカラ自治体が一階級ニ止ル、以  
上ハ自治体ニ關スル監督權ハ只東京市ニ對スルダケ  
ノモノデアルナラソレハ内務大臣が行ハヨイ、サウスルト特  
別市制トナツテモ其ノ首長ハ東京ニ在リテハ府縣ノ知事  
トハ金ク性質ノ違ツタモノニナルカラ必ズシモ官吏デナケ

レハナラヌト云フ必要ハ無イコトニナルト思フ、勿論此ノ首  
長ハ國ノ行政ヲモ掌ルニハ相違ナイガソレハ實質的ノ行  
政デソレニハ夫々準據スヘキ法規ガアル、衛生ノコトデモ  
土木ノコトデモ教育ノコトデモ一定ノ法規ニ依ツテ之ヲ  
行ツテ行クノデアツテ、程度ノ差コソアレ、今テモ現ニ  
自治体ハ皆ヤツテ居ツテ斯ノ如キ種類ノ行政ニ至ツテ  
ハ必ズ政府ノ任命シタ官吏デナケレバナラヌト云フコトハ  
ナイ、私ハ今確タル意見トシテ茲ニ斷言シテ申上ゲ  
ルコトハ出来ヌケレドモ私ノ考モダン々此頃ハ寧ッ  
テ來テ官吏必ズシモ恃ムベキモノデハナイ、自治体ノ吏員  
必ズシモ恃ムベカラザルモノデハナイト云フヤウナ考ヲダンロク

起シテ来タ以前ハ監督權ヲ強クスルコトばかり考ヘタ  
役人ハ善イコトヲスルモノデ自治体ノ吏員ハ兎角我  
儘バカリスルモノデカラ監督權ヲ強クシナケレバナラヌ  
ト云フ者ヲ有ツタケレドモ是カラ先ハ本當ノ自治  
ヲヤラナケレバナラヌカラ監督權ニ就テモ成タケ自  
治体ノ自由ヲ許スト云フ主義ヲ執ルノガ真理  
デハナイカト云フヤウニ考ヘルヤウニナツタ、ソレト關聯シ  
テ東京市ノ如キ大都市ノ組織ヲ改メテ之ヲ一階  
級ニシタ場合ニ警察權ト地方自治團體ニ對ス  
ル監督權が無イトスレバ公選ノ市長ハ上奏裁可  
ヲ經テ任命ニナルノデアルガ其市長ニ任セラ宜イデハ

ナイカト云フ者ノヲ此頃起シテ居ルノデアル、但シ是  
ハ未ダ確タル意見トイフニ非ズ、一ノ研究問題  
デアルガ、若シサウ云フ意見ガ貴族院アタリニ於テ  
同意ヲ得ルコトニナレバ特別市制問題解決ハ比較  
的容易ニナルト思フ、次ニモウ一ツ残ツテ居ル問題  
ハ苟モ東京市ヲ一ツノ獨立シタル府ヲ離レタ團體ニシ  
タナラバ、東京府ノ外ノ部分ヨドウスルカト云フ問題ガアル、  
此問題ニ就テモ實ハ名案が無イ、私ハ嘗テ東京  
都制案ニ在リテハ今日ノ都部ダケハ一ツノ縣トシテ  
残スト云フ者デアツタガ、是ニ對シテハ蛇ノ目縣ト云  
フ非難ガアツタ、併シ蛇ノ目郡ハ幾ラモアル、残ツタ

郡部ノ仕来方トシテ一番好イ方法ト言へハ之ノ分ケテ方々  
ノ縣へ附ケテ仕舞へバキレイサツパリデアルカソレハ實  
行カ困難デアラウト思フ、ソレカラ東京市自体ノ區  
域ヲドウ定メルカト云フコトモ併セテ考ヘナケレバナラヌ、  
新宿ハ既ニ合併ニナツタガ其他品川トカキ住トカ  
品川トカキ市ニ近イ所ハドンタタ發達シテ居ル、斯  
ウ云フモノヲ市ノ區域ノ方ニ入レテ仕舞フコトが出来レバ  
一番キレイニ行ク、多分サウナルト思フガ或ハサウデナク  
大東京組合ト云フヤウナモノニデモスル、ト云フ意見モ  
アルヤウデスガ、サウ云フコトハ錯雜デアルカラ東京市ノ中  
へ入レテ仕舞フト云フコトニナルダラウ、サウスルト後ノ始

末ガ尚難カシイモノミナツテ来ル然レソレハ大分將來ノコ  
トニ属スルカラ先ヅ已ムヲ得ナイカラ今日ノトコロハ千  
代田縣ナラ千代田縣トスル外ハナカラウ、ト云フのが今日  
ノ結論デアル、以テ前ハ或ル事柄ニ就テハ組合ヲ設ケル  
ト云フ案デアリマシタケレドモ組合デヤルベキ事業ガ  
アレダケアルカ、其邊ノトコロハ多ク當ツテ見ナケレバ分  
リマセヌガ必要ガアレバ組合ヲ設ケルノデアル、サウシテモ  
大シタ仕事ハアルマイ、ソレデ千代田縣ト云フヤウナモ  
ノハ何トナク感ジノ上カラ言フトオカシイヤウデアル  
ガ「セーヌ」縣ハ現ニ小サナモノデアルカラ、強イテ一縣  
トシテイケナイコトハナカラウ、殊ニダンタタ發達モスルシ

モウ少し時勢ノ進化ヲ待テバ立派ナモノニナラウト思フ、  
今日此制度ヲ立テルト云フ以上ソツクリ縣トシテ残シ  
テ置クヨリ外仕方がナカラウ、サウスルト又組合ヲ  
ドウ云フ風ニ組織スルカト云フヤウナイロク々進ンダ  
問題モ出テ来ヤウガ、ソレハサウ困難ナ問題デハ  
ナカラウ、要スルニ私ノ考デハ東京ニ特別ノ制度  
ヲ立テルニハ東京全体ヲ引離シテ府縣ノ區域外ニ  
於テ獨立ノ團體トシテ行クト云フ所マデ行カナケ  
レバナラヌ、只ソレニ就テ一番困難ナ問題ハ行政  
ノ組織ノ問題デアル、ソレヲ私ノ今申シタ通りニ諦  
メテ附ケテ仕舞ヘバ千代田縣ノ問題ナトハサウ困難

ナ問題デハナイト思フ、只郡部ノ人意嚮ガドウ  
デアールカト云フコトハ一ノ問題トシテ考慮シナケレバ  
ラスコト、思ヒマヌガ、然レ今之ヲ切離シテ方々ノ  
縣ニ附ケテ仕舞フト云フコトニナレバ利害關係ヲ  
及ボスカラ議論ガ多シカラウケレドモ其儘ソツクリ存  
続スルト云フコトニ對シテハサウ云フ異論ヲ生ズル理  
由ハ無イト思フ